平成　　年　　月　　日（　　）

季節の新聞 節電

美しい日本の四季をいかして

発行日
平成26年1月8日

千葉 くるみ

始めに

ここの新聞は、私のやっている節電の取り組みについてまとめた物です。

それを季節ごとに紹介します。俳句も作ったので読んでください。

春 おふろの巻

春は、最もはだや空気がかんそうする季節です。

おふろに入るとホコリや花粉を洗い流すことができ、はだのうるおいを取りもどすことができます。みんなが大好きなおふろですがそれぞれがバラバラの時間におふろに入ると何回もお湯を

わかすことになってしまいます。そこで、私の家族はおふろに入るのに時間を空けず、続ずけて入ることにしました。また、冷たい空気は下にたまるのでせん風機で空気をかきまぜると部屋全体がすずしくなります。

昔の日本は、エアコンがなかったので、風鈴や、うちわなどを利用していました。私の家族は、みんな「ちわ」を持っています。

この家の中にも日光の熱を取りこんで温かくなりやすくなる方法があります。

最初は昼間は日が差し込むほうのまどのカーテンをあけることです。そうすると、まどから熱だけが家の中へ入るので、熱をためることができます。

次に、日がくれ始めたらすぐにカーテンを閉め、部屋に熱を閉じ込めると、寒い夜でも熱のおかげで温かい夜がすごせます。

私の場合は、マンションに住んでいるので、りビングルームのカーテンを開け、閉めするのが私の仕事です。

夏 冷房の巻

夏は、冷房をたくさん使う時期です。冷房は涼しくて、気持ちが良いのですが冷房の温度を二十八度以下にすると、体調をくずしてしまうことがあります。

しかし二十八度を目安にすると、省エネ効果は、30.2Kwhで家計のオトクは、760円、CO_2は、11.5kg消滅されます。

秋 スポーツ・読書の巻

秋は、スポーツ、読書などをするのにてきした季節です。

スポーツをすると、体が温たまります。だから、暖房を使わなくてすみます。

また夜おそくまで、テレビや本を見ていると、電気をたくさん使うけど、いつもより、より早くねむると、その分電気を使わないので節電になります。

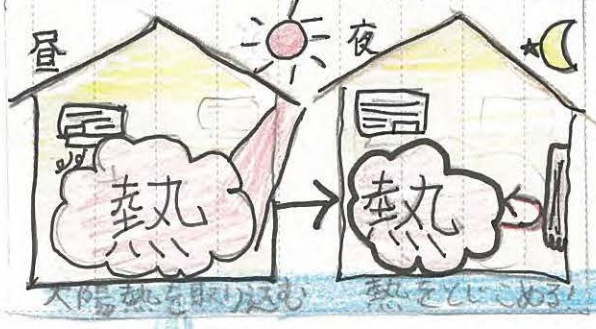
私は運動会や持久走記録会の練習のほかになるべく体を働かすようにしています。

夜も早くねるように心がけています。

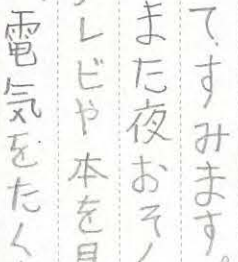
冬 カーテンの巻

冬は、四季の中で一番寒い季節です。

冬は日光が当たっていると温かいですね。



カーテンを閉めると温かいわね。



感想

私は、節電のことについて、たくさん学びました。

今からでも間に合うので、これからもこん回の新聞で書いた四季の節電のことを自分の生活にもいかして、これからもECOにつながることをしていきたいです。

一句マンガ

全国銀行協会、朝日小学生新聞、朝日新聞社